

# 令和7年度 中部地方整備局管内 河川・海岸協力団体との意見交換会

【日 時】 令和7年12月3日（水）15:00～16:30

【場 所】 名古屋会場（ウインク愛知）、事務所会場、WEB併用

【出席者】 25団体32名

【目 的】 各団体の活動内容や抱える問題・課題、参考となる取組等を他団体と共有することや、河川管理者を含め意見交換することで、河川・海岸協力団体の今後の活動の一助になることを目的としています。

【議 事】 ○河川・海岸協力団体制度について

○令和7年度の報告団体からの発表

＜5年目毎の更新団体＞

- ・うしづま水辺の楽校 世話人会
- ・特定非営利活動法人 e-plus生涯学習研究所
- ・水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座
- ・特定非営利活動法人 K A M B A R A 1 5 th

＜1年目の活動報告＞

- ・一般社団法人 長野県南部防災対策協議会
- ・木曽川ゲレンデ利用者会議

○意見交換 ①活動資金の調達について ②高齢化・人手不足について  
③活動のマンネリ化について ④夏の暑さへの対策について



## 【主な意見交換の内容】

- 活動資金の調達に関する課題については、河川空間のオープン化制度を活用した売店の出店による収益による資金確保、民間企業との契約・寄付、河川基金や行政の補助金の活用など、参考となる取り組み事例が共有されました。
- 高齢化・人手不足に関する課題については、学生等のボランティア希望者とつながる「activo」の活用、市のボランティア協議会への加入、SNSを活用した情報発信、他団体との連携など、参考となる取り組み事例が共有されました。
- 河川協力団体制度の目的は、河川管理者と河川協力団体のコミュニケーションによる相乗効果で、良好な河川空間を形成することであるが、河川管理者側の本制度の取り組みに積極性が見られない（HPの更新頻度や様式の提出に関する柔軟性の無さ等）とのご意見も頂きました。